



やまぼうし

大崎市立鳴子中学校

学校だより第10号

2023.12.22

学校教育目標

夢をはぐくみ 生命を輝かせ
確かな実践力をそなえた生徒の育成



冬季休業前全校集会

10月11日にスタートした2学期は、73日の前半を終え、明日から1月8日（月）までの冬季休業に入ります。これまでの間、コロナ禍前の規模で鳴中祭、鳴子地域音楽会、川渡地域合同防災訓練等を実施することができました。それぞれの行事において、生徒たちは着実な成長を遂げ、心身ともにたくましくなった姿を見せました。12月に入り、インフルエンザが猛威を振るい、学級閉鎖となった学年もありましたが、保護者の皆様には御家庭での感染予防や学校生活や学校行事に対する御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

冬季休業中は、クリスマスやお正月がありますので、家族や親戚が集う貴重な機会を大切に過ごしてほしいと思います。事件や事故がなく充実した冬休みが過ごせるように願っています。1月9日（火）には、元気な姿で登校する生徒と会えることを楽しみにしています。



ー全校集会での校長挨拶ー（一部抜粋）

今日は、「言葉の力」について話をしたいと思います。
私は以前、「コーチング」の話を聞く機会がありました。

コーチングとは、対話を通して、やる気や元気を湧き起こして力を最大限発揮させる手法です。常に前向きな言葉を発していれば、必ずモチベーションが高まり、幸せな生活を送ることができるということです。

逆に、後ろ向きな言葉、相手を傷つけるような言葉を発していると、モチベーションは下がり、何をやっても満足せず、幸福感を得られずに生活を送ることになるということです。

また、このことを裏付ける実験もあります。2つの生卵を別々の容器に割って入れ、片方の卵には「ありがとう・大好き・うれしい」の良い言葉を書いた紙を貼り、もう片方の卵には「めんどくさい・うざい・うっとうしい」の悪い言葉を書いた紙を貼り付けます。毎日観察するときも、「ありがとう」と書いた卵には「きれい」「美しい」「優しい」「大好き」などの前向きな言葉をかけ続け、「めんどくさい」と書いた卵には「バカ」「うざい」「きもい」「きたないな」などの後ろ向きの言葉をかけ続けます。

これを3週間続けると明らかな違いが出てきます。「ありがとう」と書いて、プラス言葉や感謝の言葉をかけ続けた卵は、大きく形を崩すこともなく、少しカビが繁殖している程度でした。もう片方の「めんどくさい」と書いてマイナス言葉や汚い言葉をかけ続けた卵は、大きく形は崩れ、黒カビが生え、悪臭が漂う状態になるとのことでした。言葉かけの違いで、こんなにも結果が変わることから、言葉の持つ力は偉大であることがわかります。

皆さんは「言霊^{ことだま}」の意味を知っていますか。言霊とは、「言葉に宿る霊的な力」という意味ですが、簡単に言えば「言葉には力がある」ということになります。毎日の生活の中で、「めんどくせー」「つまんない」とため息を吐きながら過ごしていると「腐った卵」のようになるのです。また、他の人に「きもい」「むかつく」などの言葉を発すると、この言葉は自分自身の脳で認識しますから、マイナスの言葉をかけられているのと同じ状態になるのです。

これまでの生活の中で、マイナス言葉を発していなかったかを振り返り、発していたのであれば、今後は意識してプラスの言葉を発して、自分自身をコーチングしていくことで幸せな生活が訪れると思います。

明日から冬休みに入り、令和5年もあと9日で終わろうとしています。今年一年を振り返り、自分の頑張りを認め、改めなければならないところを反省しましょう。全校生徒76名、全教職員29名が、新たな気持ちで新年を迎え、プラス言葉があふれる令和6年になるよう期待します。

「気象予報士出前講座」

鳴子中学校では、東北大学教授村松 淳司様、NPO法人スパッと鳴子温泉自然エネルギー 様の御協力で、6年にわたって、年3回の東北大学出前講座を実施しています。今年度は、特別に4回目として、11月16日（木）に気象予報士の岩谷 忠幸氏をお迎えし、気象予報士出前講座を開催していただきました。地球温暖化による気象異常やそれに伴う自然災害の増加などについて学習することで、地球環境を守り、先の世代へと引き継いで行こうとする態度を育むことを目的としています。

当日は、未来の地球と私たちの暮らしについての講義を受けた後、グループでワークショップを行い、自分たちの将来に起こるかもしれない気象変動を食い止めるために何ができるかを考え、発表しました。



「川渡地域と鳴子中学校合同防災訓練」



11月29日（水）に4年ぶりとなる川渡地域と合同防災訓練を実施しました。東日本大震災の教訓を生かして川渡地域と指定避難場所である鳴子中学校が合同で防災訓練を実施することにより、地域、家庭と学校、関係諸機関が緊密に連携し、災害時の防災体制の構築を図ること、中学校での避難所開設・運営について地域、学校、関係諸機関が再確認することで、防災意識の高揚と、地域防災力の更なる向上を図ることを目的としています。

雨が降り、足下の悪い中でしたが、たくさんの地域住民の方々と避難訓練、消火訓練、負傷者搬送訓練、応急救護訓練、救助訓練、段ボールベッド体験等を行いました。

「自らの身を守り、乗り切る力」、「知識を備え、行動する力」（自助）、「地域の安全に貢献する力」「安全な社会に立て直す力」（共助・公助）、「安全安心な社会づくりに貢献する力」（公助）を高めることができた合同防災訓練となりました。



1月の予定

- 1月 元日
- 2火 閉庁日 ～3水
- 4木 仕事始め・アルペン合宿 ～5金
- 8月 成人の日
- 9火 全校集会・全学年実力テスト
- 11木 SC来校・放課後学び支援
- 12金 スキー県大会～14日・放課後学び支援
- 17水 鳴中タイムなし・専門委員会

- 18木 ローテーション道德・鳴中タイムなし
ALT来校・中央委員会・放課後学び支援
- 19金 放課後学び支援
- 25木 ALT来校・SC来校・放課後学び支援
- 26金 スキー東北大会～28日
- 30火 私立高校入試A日程

閉庁期間中の緊急事態発生時の連絡について

閉庁期間 12月27日（水）～1月3日（水）

平日：大崎市教育委員会 0229-23-2212

土日及び祭日 eメッセージ→連絡→その他の連絡